

# 令和3年度(2021年度)第3回北海道紋別養護学校評議員会 議事録

## 1 日時

令和4年(2022年)3月

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため紙面開催

## 2 学校評議員

加藤 克 晶 様

鍋島 博 様

藤井 康 成 様

袴田 真 美 様

水谷 香 織 様

## 3 議 題

- (1) 北海道紋別養護学校学校評価について
- (2) 北海道紋別養護学校ひまわり学園分校学校評価について
- (3) 令和4年度グランドデザイン(案)について
- (4) その他

## 4 議 事

### (1) 議題1 北海道紋別養護学校学校評価について

(評議員) ○平均評価点は昨年度より0.21上昇し、3.30になった。評価項目28項目中、評価3(できた)を下回ったのは1項目のみ。学校全体で取り組んだ成果だと思ふ。

○一番評価が低かった(2.96)いじめ等の防止・体制整備は、昨年度評価点3.31よりも大幅に低くなっている。評価点2を付けた職員が12名(評価点1が3名)もいる状況は深刻な状態。安心・安全な学校にするためには、特に重要な項目なので、子どもを守るためにも、情報を共有し、全校で組織的に取り組んでほしい。

(評議員) ○個人情報の管理については、管理は十分されているはずだが、新聞等で様々な機関において個人情報の漏えいなどが報道されている。事故は起こるものだからの上に一層の管理、対応が求められる。

○地方公務員の自覚と責任については、道立学校の職員としてより求められ、とりわけ教育公務員は厳しい目で社会は見ているとの認識に立つとともに、人としての在り方を高めたい。

○発達段階や生活年齢に応じた指導については、個に応じた指導の展開は子ども理解をもとに場や状況、教材等に応じ指導目標の達成に指導生徒側に立つことをより一層、心することが望まれる。

- 児童生徒理解に基づく指導については、どの児童生徒も人としての尊厳をもつていことを根底に、かけがいのない存在であるとの認識を意識することが求められる。とりわけ、子どもの背景にある保護者にとっては、最愛の我が子である。このことに思いを馳せるのも必要ではないかと考える。
- 学舎・事務との連携については、子どもにとって、学校、寄宿舎にいる大人は先生である。同じ屋根の下にいる職員は、人としての行い方、生き方、在り方等の先生であることを認識する必要がある。また、隙間のない十分な報告・連絡・相談等はなかなか難しいことから自ら積極的に報・連・相を求め進めることが必要である。
- 専門性の向上については、地方公務員は、資質向上のため研修に取り組むことが求められており、研修=研究と修養に励む必要がある。学習指導における研究は、子ども研究（子ども理解）、教材の研究（指導内容の分析）、指導の研究（指導目標実現の指導法の工夫）の3点を内容としているので、偏りなく取り組むことが求められる。修養は、人間性の向上を図るものだが、教育に関わる者として、とりわけ人間関係のよりよい構築が必要である。児童生徒、保護者、教育関係者、同僚などとの信頼関係を確立することが大切である。

(評議員) ○教職員が一定の成果と達成感を感じている評価になったということを理解した。コロナ禍で十分な教育活動に制約がある中となったが、それぞれの充実に努めてほしい。また、教職員側の評価と保護者側の評価にずれが生じていかない様、共有、また、協力しながら次年度も取り組んでいくことが望ましいと考える。

(評議員) ○コロナ禍だからこそ zoom を活用したオンライン研修はとても素晴らしいと思った。コロナ禍でも教職員の工夫、対策等で交流及び共同学習を実施したことは、児童生徒にとっても有意義な時間になったと思う。

## (2) 議題2 北海道紋別養護学校学校ひまわり学園分校評価について

(評議員) ○評価点の低い人権意識（教職員 3.06、保護者 3.29）については、昨年度の第3回学校評議員会で令和3年度の学校評価でも「人権意識」について「低い」という意見が多数を占めていれば、令和4年度はもっと強い措置を取る必要がある。全ての教職員は心して次年度を迎えなければならないと記している。令和4年度は危機感をもって実効性のある取り組みをしてほしい。

○保護者評価への記載時、「表題」、「2-(2)対象者」、「3-(2)保護者評価について」の部分に「学園職員」の文言も合わせて記載すると良い。

(評議員) ○4-(1)北海道紋別養護学校学校評価で挙げた内容と同様だが、特に次の点について述べる。

○教職員評価について、保護者との連携が3.31、保護者との情報共有が3.51となっている。教育は保護者との信頼関係の確立が求められる。保護者は我が子のこと、学校のことをよく知りたいと思っているので、より一層の連携、情報

発信を期待する。

○教職員評価について、会議の目的を理解して参加が3.35、効率的な会議運営が3.09となっている。会議はできるだけ短くすることが求められたため、意識改革はされていると考え、あとは質の高い協議を短時間（努力目標の設定）で済ませることの実現が求められる。

(評議員) ○昨年度においても評価の低さにあった「人権意識」については、意識化し、そしてそれを教育活動での実践また評価など振り返りにおいて、高い状況までに至るにはそれなりの時間を要する部分もあろうかと思う。ただ、早急な取組の実施が必要であると判断したことも踏まえ、保護者、また学園、地域等と連携し、より具体的に進められることを望む。

(評議員) ○校内での新型コロナウイルス感染症対策は、しっかりされており、安心して通わせることができた。感染症対策で制限されることも多く、行事の見直しやオンラインの活用が増えてくると思うが、児童生徒が楽しく、教職員は健康に学校生活を送ることができるようにしてほしい。

### (3) 議題3 令和4年度グランドデザイン（案）について

(評議員) ○教育方針、経営方針については、具体的に説明されていて分かりやすく良い。  
○具体的取組（学校評価指標）の具体的内容についての提示はないのだろうか。

(評議員) ○十分に練られた学校教育目標の実現、学校課題改善策と心から敬意を表す。そこで、これまでに十分に検討されたと思うが、本校と分校では学校の立地条件や子どもが違うとなれば学校課題も違うのではないかと考える。当然、課題解決、改善の施策も違いがあるはずなので、経営方針や重点目標（具体的取組には示されている）等、どこかに示しておくことが望まれる。

(評議員) ○教育方針、経営方針、また重点目標も承知した。多様性、持続可能、また、社会の在り方自体が変化している中で、教育上においての支援が必要となる子どもたちに対して、いかにして学びを保障し、育てていくことも大切な一部である。参画、協働、連携といったワードの意味を大切にして令和4年度においてもグランドデザインが深まっていくことを期待する。

(評議員) ○一人一人の主体的、協働的な学びとして保護者としても連携することが大切だと思うので、しっかりと意識して児童生徒のために連携していきたい。

### (4) その他

(評議員) ○学校の業務内容は増えることはあっても減ることは極めて少ないため、多忙を極めてしていると推測するが、何よりも子どもの笑顔や物事を実現したとき（自己実現）の姿（表情、行動、態度、しぐさ等）に思いを馳せて日々の実践に取り組

むことを願っている。

(評議員) ○令和3年度に入っても本校、分校に通学する学園の子ども達に対して教育を通じて「子どもの最善の利益」の実現に力添えをいただいたこと、感謝を申し上げます。

(評議員) ○新型コロナウイルス感染症の渦中ということもあり、学校生活に不安をもつ保護者もたくさんいると思うが、これからも引き続き対策、対応をお願いしたい。迅速な対応としても一斉メールは活用することができたら良い。

○施設見学や職場体験に行けず、卒後の進路に不安や悩みをもっている児童生徒、保護者が多くいると思うので、何か違う形（オンライン、パンフレット等）で施設等を見ることができると嬉しい。

#### 【北海道紋別養護学校学校評価について】

(学校より) ○事故やいじめ等の未然防止については、教職員で情報共有を確実にを行い、組織的な対策に努め、実効性のある取り組みを推進する。迅速な報告、連絡、相談の徹底により、学舎・事務が連携した体制づくりを進める。

○感染症対策については、次年度も高い意識をもって取り組み、教育活動の継続を図る。また、ICT等を活用した臨時休業等における学びの保障にも引き続き取り組む。

○教職員の専門性については、校内研究や研修の機会を推進し、一人一人の発達段階に応じた教育や児童生徒理解に基づく教育の充実を図る指導をもとに、教職員が協働し学び続け、特別支援教育の専門性を高めていきたい。

#### 【北海道紋別養護学校ひまわり学園分校学校評価について】

(学校より) ○人権尊重については、言語環境の整備・充実を図るとともに職員研修の充実により、教職員の人権意識の向上と教育公務員として自覚と責任ある行動を徹底していく。

○情報発信については、学校便りやホームページ等を活用し、学習や行事等の教育内容の発信を行う。

○学校と保護者の連携については、メールやお便りなどを活用し、一層の情報共有を図る。

○施設見学等については、内容や時期等を検討し実施する、

○会議をはじめ、業務の効率化については、全職員参画のもと、業務改善（働き方改革）に取り組み、教育の質及び業務の質を高めていきたい。

#### 【令和4年度グランドデザイン（案）について】

(学校より) ○本校、分校の学校課題及び今日の教育の動向を踏まえ、学校教育目標の達成に向けてグランドデザインを策定した。学校教育目標、教育方針、経営方針等は共通とし、具体的取組（学校評価指標）の中で各校それぞれの学校課題に対する取り組みを重点化して改善を図っていきたいと考える。

- 次年度も児童生徒一人一人の生きる力を育てるため、確かな力を育む教育を推進する。また、授業改善、教育活動の充実をすすめながら、教育の質の向上を目指し、保護者、地域との連携・協働のもと、社会の変化に対応する持続可能な教育を推進したいと考える。
- 人権尊重を基盤とした、互いに認め合い、育ち合う教育を推進し、多様な他者と協働し、よりよく生きようとする力を育てていきたい。また、一人一人の主体的、協働的な学びを実現する教育、保護者との共通理解を基盤とした個別の指導計画に基づいた教育をすすめ、一人一人の育てたい力を確かに育む教育を推進する。

本年度も学校運営等につきまして、貴重な御助言をいただき、感謝申し上げます。今後も本校の教育活動へのお力添えをいただけますようお願いいたします。